



下山小だより

身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

2学期が終わります。ご支援ありがとうございました

いよいよ、2学期も明日までとなりました。一年で一番長い2学期ですが、大きな事故やけがもなく、毎日元気に登校してくれたこと、本当によかったと思っています。

日々の学習や生活、たくさんの行事等の経験を通して、目標に向けて頑張る姿、仲間と協力してつくり上げる姿等、成長した姿をたくさん見ることができました。様々な教育活動におきまして、保護者の皆様や地域の皆様からいただきました、ご理解とご協力、ご支援によるところが大きかったと思います。ありがとうございました。

明日、終業式を迎えますが、子どもたちには、それぞれ今年のふり返りと、新たな年に向けた目標について考えてほしいと思っています。ご家庭でも、この一年の成長を褒めてあげてください。そして、未来に向けての希望とやる気を持って、新しい年を迎えられることを願っています。

さて、25日から冬休みに入ります。ご家庭で一緒に過ごす時間が長くなると思いますが、ぜひ、子どもたちに、大掃除や年末年始の準備等、お手伝いをさせていただきたいと思います。家族の一員としての自覚を持たせると共に、人の役に立つことで自己有用感を高めることにもつながります。親子のふれあいを十分に深め、心に残る冬休みをお過ごしください。

保護者の皆様、見守り隊の皆様、地域の皆様には、この一年間、下山小の教育活動へのご理解・ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。よいお年をお迎えください。来年もどうぞよろしく願いたします。

竹炭入り西嶋和紙マスク配布

11月16日に竹炭入り西嶋和紙・抗菌防臭シート入りマスク配布セレモニーが行われました。和紙工業協同組合、竹炭組合、町観光課のみなさんにお越しいただき、児童一人当たり15枚ずつマスクをプレゼントしていただきました。みのワンから児童会長に手渡していただき、その後全校児童が実際にマスクを着用して付け心地を確認しました。感染防止に有効活用していきたいと思っています。



5年生 社会科見学

11月12日に社会科見学で防災新館に行ってきました。県防災局の方から山梨県の防災対策についてお話を伺いました。次に県議会議事堂を説明を受けながら見学し、議会の実際について知りました。議事堂の椅子にも座らせていただきました。最後にジュエリーミュージアムでストラップを作りました。実際に目で見てしっかり学ぶことができました。



校内研究会 5年生算数



12月8日に、5年生算数「平面図形の面積」の授業研究会を行いました。これまでの学習を生かし、ひし形の性質から面積の求め方を考える学習です。子どもたちは、積極的に考え、お互いに考え方をフォローし合いながら、自分たちの力で学習を深めていました。本校の校内研究の副主題である子どもどうしがかわり合い、学び合う

授業の姿を見ることができました。この研究会を通して、職員で話し合い、共有したことを各学年の授業に生かし、さらなる授業のレベルアップを図っていきたいと思っています。



もっと楽しい体育授業で体力アップ事業

12月16日に県教育庁保健体育課主催の体力アップの授業が行われました。1～4年生が、講師の先生方の指導のもと、楽しみながらボール投げの動きを身につけました。下山小の児童はとても一生懸命ですばらしいと講師の先生方からお褒めの言葉をいただきました。日頃から学習に真剣に取り組んでいる成果だと思えます。

冬休みも体を積極的に動かして体力を高めてほしいと思います。



学生時代、ハナ肇とクレージーキャッツの曲をよく聞いていました。中でも好きな曲が、植木等が歌った「だまって俺について来い」です。この曲を聞くと元気になれた思い出があります。歌詞は以下の通りです。

ぜにのいやつあ
俺んとこへこい
俺もないけど 心配すんな
みろよ 青い空 白い雲
そのうちなんとかなるだろう



なんとも無責任な歌詞ですが、この「そのうちなんとかなるだろう」に元気になる秘密が隠されていたと思います。

この「なんとかなる」と物事を前向きに捉え、楽観的であることは「幸せ」になる要素の1つだそうです。落ち込んだり不安になったりしても、「なんとかなる」と楽観的に捉えれば、気持ちの切り替えが早くできます。何かに取り組む時も、「きょううまくいく」と楽観的に考えれば、新しいことにも進んで挑戦できます。

不安や恐れにとらわれるのではなく未来（夢や希望）に向け、今できることを1つ1つ積み重ねていくことが大切だと思います。

日本人は心配性の傾向が強いと言われていますが、子どもたちには、意識して物事を前向きに楽観的に捉え、周りと支え合いながら、失敗を恐れずチャレンジして欲しいと思っています。

文責 校長 新田 修